

平成26年第3回県教育委員会会議  
報告事項(1)

総務課

1 報告事項

平成25年度市町村教育委員会教育委員・教育長研修会開催結果報告

2 事項の説明

(1) 目的

本県教育行政の直面する課題等について、市町村教育委員及び教育長が理解を深め、文教施策の円滑な推進に資するとともに、本県教育の進行と教育委員会の活性化を図る。

(2) 期 日

平成26年1月27日(月) 13:30～17:00

(3) 会 場

県庁4階講堂

(4) 参加者

県内市町村教育委員会委員及び教育長(158名)

(5) 研修内容

①教育長講話「家庭教育」について思うこと

②各課等説明

総務課

・今後の地方教育行政の在り方について

県立学校教育課

・英語立県沖縄の施策推進についての現状と課題

・沖縄県心身障害児適正就学指導委員会について

・不登校対策について

義務教育課

・「確かな学力」の向上を目指して

教育指導統括監

・今後の学校運営等について

(6) アンケート回答より

○学力向上について、具体例も含めて多くの時間を割いたこともあり、有意義だったと評価する意見が多く見られた。

○家庭教育の重要性を再認識したとの意見が多く見られた。

○担任持ち上がり制の提案に対して、多くの賛成意見が寄せられたが、教師と児童生徒が合わない場合等の懸念(対応法が知りたい)を示す意見も見られた。

【その他の意見】

・家庭教育の大切さを県民全体に訴え県民運動としてのムーブメントを起こしたいという教育長の気持ちが「山は動く」という言葉から感じられた。

・教育長講話で触れられた、本県児童生徒を巡る状況を示す、各種データを県民1人1人が認知していく必要がある。

・学力向上は100%全員が大切だと思うが、「何のための学力向上か」という点が一番大切であり、県と市町村が同じベクトルを目指す必要がある。